

高等教育コンソーシアムみえ News

三重創生ファンタジスタ養成、高等教育コンソーシアムみえ及び各構成機関の情報誌です！

リカレント教育プラットフォームみえ セミナー「学びが地域の元気をつくる」 を開催しました

7月18日（金）、亀山市文化会館において、リカレント教育プラットフォームみえの今年度第1回目のセミナー「学びが地域の元気をつくる」を開催し、約50名の方にご出席いただきました。
まず、産学官金連携協議会委員長の湯浅陽子 三重大学理事（教育担当）・副学長より開会のご挨拶をいただきました。



会場の様子



三重大学 湯浅 陽子 理事

講演では、まず櫻井義之 亀山市長をお迎えし、「亀山学のススメ」と題して、亀山市における環境・経済・社会を統合させた政策の取組や、亀山市をフィールドとした市民の「学び」の好循環などについてお話いただきました。



亀山市長
櫻井 義之 氏



亀山商工会議所
川森 浩司 氏

続いて、川森浩司 亀山商工会議所会頭をお迎えし、「豊かな生活を送るために！」と題して、スキルアップのための教育もさることながら社会の課題やニーズに伴う教育といった会社で行う社会人としての教育も不可欠な時代であること、より質の高い生活をするために教養や趣味を見つけようと思った時こそ新たな学びの始まりのきっかけであることなどをお話いただきました。

さらに、加藤丈典 エイベックス株式会社代表取締役社長をお迎えし、ご自身が経験された経営者教育から得た学びの重要性や、会社の存続のための市場創造と人材育成の必要性、製造業として人と設備を長く大事にするための人材育成の事例などについてお話いただきました。

最後に、産学官金連携協議会副委員長の野々垣明子 皇学館大学教育学部准教授より閉会のご挨拶をいただきました。リカレント教育プラットフォームみえでは、引き続き県内高等教育機関と社会との接続をより深化させ、三重県全体でリカレント教育を推進する取組を進めていきます。

HP : https://conso-mie.jp/2025/07/24/2025recurrent_seminar0718_report/

前期集中講義「日本理解特殊講義 （医療・健康・福祉実践）」が開講されました

8月26日（火）～8月29日（金）高等教育コンソーシアムみえの単位互換科目である三重大学 前期集中講義 「日本理解特殊講義（医療・健康・福祉実践）」が実施されました。
今年度は名張市をフィールドとし、「地域の取り組み」「地域の特徴や歴史」「地域医療」を知る講義やフィールドワークから地域課題を発見し、グループワークから解決案を提示します。

三重大学・津市立三重短期大学より9名の学生が参加しました。



HP : https://conso-mie.jp/2025/09/17/2025iryoku_kenkou_fukushi_report/

リカレント教育プラットフォームみえ セミナー「学びで実現するサステナブル 企業」を開催しました

9月12日（金）、ゆめテクノ伊賀において、リカレント教育プラットフォームみえの今年度第2回目のセミナー「学びで実現するサステナブル企業」を開催し、約50名の方にご出席いただきました。
まず、産学官金連携協議会委員長の湯浅陽子 三重大学理事（教育担当）・副学長より開会のご挨拶をいただきました。



会場の様子



三重大学
湯浅 陽子 理事

講演では、中井茂平 ゆめぼりす伊賀立地企業連絡会会長（上野ガス株式会社代表取締役社長執行役員）をお迎えし、

2025年度県内高等教育機関合同開講授業「食と観光実践」(後期集中講義)が実施されました

「ゆめぼりすの歩みと未来」と題して、ゆめぼりす伊賀の歴史や活動、ゆめぼりす伊賀におけるリカレント教育の状況、伊賀地域の優位性や発展可能性などについてお話いただきました。

続いて、神谷勝之 株式会社ミルボン管理部長をお迎えし、「持続可能性に貢献する企業の教育・人材育成とは」と題して、株式会社ミルボンにおけるサステナビリティ推進のためのKPIなどの取り組みや、新入社員研修や階層別研修などの継続的な教育体制に加え公募型研修や自己啓発援助制度など挑戦意欲のある社員が成長していける仕組みを構築していることなどをお話いただきました。



ゆめぼりす伊賀立地企業連絡会
中井 茂平 氏

株式会ミルボン
神谷 勝之 氏

さらに、リカレント教育の事例紹介として、川井勝 三重大学リカレント教育コーディネーター・リカレント教育特任教授から「リカレント教育プラットフォームみえ関連講座紹介」、寺田幸時 近畿大学工業高等専門学校非常勤講師及び梅岡弘弥 近畿大学工業高等専門学校事務部技術職員から「近畿大学工業高等専門学校のリカレント教育について」、青木雅生 三重大学リカレント教育センター長・教授から「三重大学のリカレント教育センターの取り組み」についてお話いただきました。



近畿大学工業高等専門学校
梅岡 弘弥 氏

三重大学
青木 雅生 氏

最後に、産学官金連携協議会委員長の湯浅陽子 三重大学理事(教育担当)・副学長より閉会の御挨拶をいただき、講演終了後には参加者交流会を開催し、活発な情報交換がなされました。



交流会の様子

リカレント教育プラットフォームみえでは、引き続き県内高等教育機関と社会との接続をより深化させ、三重県全体でリカレント教育を推進する取組を進めていきます。

HP : https://conso-mie.jp/2025/09/18/2025recurrent_seminar0912_report/

今年度の学びの舞台は、鳥羽市の離島。テーマは「離島の暮らしと魅力～鳥羽の離島の食と観光をポスターでPRする」です。伝統的な魅力と現代の観光ニーズの間に立ち、大学生たちは離島の新たな価値を発見できるのでしょうか。授業実施の記録は以下となります。

●第1回(10月1日～10日)：オンライン事前学習
まず初めにオンラインでの事前学習を行いました。配信された動画レクチャーを通じて、学生たちはフィールドワークに向けた知識の土台を築きました。加えて鳥羽市の人口や産業特性といったデータをRESASを活用し、自身で調べレポートにまとめました。フィールドワークに備え、多角的な視点を養いました。

●第2回(10月11日)：鳥羽市でのオリエンテーション
参加学生は初めて鳥羽駅に集合し、対面でのオリエンテーションが開催されました。午前中は鳥羽市水産研究所で地域の基幹産業について、海藻の養殖を中心に学び、その後、海の博物館へ。ここでは館長が島の豊かな歴史を生き生きと語ってくださり、地域の文化遺産にまつわる物語を学生たちは感じる事ができました。午後からはチームビルディングとグループワークを行い、本格的なプロジェクト始動に備えることができました。

●第3回(11月8日)：離島フィールドワーク①
学生たちは「答志島」と「菅島」の2つのグループに分かれ、いよいよ初めての離島フィールドワークにそれぞれの島で臨みました。答志島では、地域の観光を担う「島の旅社」のプロのガイドが、島の暮らしや産業についてご案内いただきました。菅島では、地元の小学生「島っ子ガイド」が先生役になってくれました。こちらは子どもの視点を通して、島の飾らない日常を共有してもらいました。



海の博物館見学の様子



フィールドワークの様子

●第4回(11月29日)：グループワーク@TOBASHARE
フィールドワークで得た情報やひらめきをもとに学生たちは鳥羽市内のワークスペース「TOBASHARE」で議論を行いました。カフェのような素敵な空間で学生達はチームに分かれ、それぞれに検討を行いました。学生たちはフィールドノートや体験談を具体的なポスターコンセプトへとつなげるため、議論を重ね、中間発表を行い、コンセプトを共有しました。

●第5回(12月13日)：離島フィールドワーク②
グループワークで生まれた「島の魅力はこれではないか？」という仮説を検証するため、今一度離島に赴きました。この2回目の訪問では、ポスター制作に必要な写真素材の収集も目的としました。桟橋で釣りを体験し、思いがけずフグを釣上げる学生もいれば、あまりの心地よさに桟橋の階段で寝そべってしまう学生もいるなど、より深く、そしてリラックスして島の日常に溶け込む姿が見られました。鳥羽マリナーミナル帰着後、2階の交流ラウンジでグループワークを行い、最終発表に備えました。

「みえまちキャンパス in 鈴鹿高专」 を開催しました

2月26日（木）鈴鹿工業高等専門学校にて「みえまちキャンパス in 鈴鹿高专」を開催しました。今年度は12団体と参考発表1団体の計13団体と多数の学生たちが参加し、プレゼンテーションやパネル展示による発表を行いました。また、参加校の学生による意見交換会・交流会も行い、親睦を深めました。

はじめに、高等教育コンソーシアムみえ地域貢献部会の伊東直人部会長（鈴鹿大学）、開催校である鈴鹿工業高等専門学校の藤本慎司校長から開会のご挨拶をいただき、審査員と発表団体の紹介が行われました。

2月26日（木）鈴鹿工業高等専門学校にて「みえまちキャンパス in 鈴鹿高专」を開催しました。今年度は12団体と参考発表1団体の計13団体と多数の学生たちが参加し、プレゼンテーションやパネル展示による発表を行いました。また、参加校の学生による意見交換会・交流会も行い、親睦を深めました。

はじめに、高等教育コンソーシアムみえ地域貢献部会の伊東直人部会長（鈴鹿大学）、開催校である鈴鹿工業高等専門学校の藤本慎司校長から開会のご挨拶をいただき、審査員と発表団体の紹介が行われました。



地域貢献部会
伊東 直人 部会長



鈴鹿工業高等専門学校
藤本 慎司 校長

続いて、プレゼンテーション発表、パネル展示発表を行いました。発表ではそれぞれの活動に対して、来場者や審査員から質疑や激励のコメントも活発に飛び交いました。



プレゼンテーション発表の様子



パネル展示発表の様子



●審査員による採点及び来場者の投票により、表彰された受賞団体は次のとおりです。

【プレゼンテーション部門】

◎最優秀賞

バトンProject「バトンProject成果報告」（鈴鹿工業高等専門学校）

◎優秀賞

北原研プログラムチーム「小学生のためのプログラミング教材の開発とその評価」（鳥羽商船高等専門学校）

◎優秀賞

三重創生ファンタジスタクラブ「みえフルプロジェクト～三重のフルーツ」で繋がる地域と学生」（三重大学）

【パネル展示部門】

◎ベストパネル賞

バトンProject「バトンProject成果報告」（鈴鹿工業高等専門学校）

当日は、参加校の学生による意見交換会・交流会も開催され、学生同士で交流を深めることができました。また、企画・運営は、開催校である鈴鹿工業高等専門学校の教職員及び学生により行われました。



参加校の学生による意見交換会・交流会の様子



「みえまちキャンパス」に参加していただいた学生団体の皆様、審査員の方々、ありがとうございました。

HP：<https://conso-mie.jp/2026/03/02/20260226miemachi/>

三重大学 後期集中講義「現代社会理解実践1(次世代産業実践)」が開講されました

2月13日（金）～18日（水）高等教育コンソーシアムみえの単位互換科目である三重大学 後期集中講義 「現代社会理解実践1(次世代産業実践)」が実施されました。

本科目は、最先端のデジタル技術に触れ、それらを実践的に利用することで、今後ますます加速する情報化社会の変貌に対し、次世代を担う三重創生ファンタジスタとして備えるべき発想力と実践力を学ぶ内容となっております。今年度は、三重大学が所有するコモンスペースであるCeMDS（数理・データサイエンス館）において授業が行われ、三重大学9名、津市立三重短期大学3名、皇學館大学1名、鈴鹿医療科学大学2名の学生が参加しました。

担当教員の三重大学 教推進・学生支援機構 学生支援・キャリアセンター 織田 拓コーディネーターより当日の様子が分かる資料、授業で各チームが作成した授業紹介動画が届きましたので、ぜひご覧ください。



HP：<https://conso-mie.jp/2026/03/13/2026jisiedaisangyo/>

フォーラム「三重をけん引するリカレント教育ーリカレント教育令和7年度総括と次年度に向けてー」を開催しました

3月6日（金）、リカレント教育プラットフォームみえの今年度総括のフォーラム「三重をけん引するリカレント教育ーリカレント教育令和7年度総括と次年度に向けてー」を開催し、約70名の方にご出席いただきました。

まず、産学官金連携協議会委員長の湯浅陽子 三重大学理事（教育担当）・副学長、小倉敏秀 三重県経営者協会会長、番条喜芳 日本労働組合総連合会三重県連合会会長より開会のご挨拶をいただきました。



会場の様子



三重大学
湯浅 陽子 理事



三重県経営者協会
小倉 敏秀 氏



日本労働組合総連合会
三重県連合会 番条 喜芳 氏

講演では、浜田吉司 IXホールディングス株式会社代表取締役社長より、学び直しによる経営革新として、なぜ「学び直し」をしたのか、そして何が「学び直し」によって変わったのか、ご自身の経験を通して自社の取組や三重県内の社長たちによる地域イノベーションについてお話をいただきました。



IXホールディングス株式会社
浜田 吉司 氏

続いて、リカレント教育プラットフォームみえ活動報告として、小林一成 事業実施委員会委員長より今年度から設立された事業実施委員会の取組や提言内容をお話いただき、青木雅生 リカレント教育センター長からリカレント教育プラットフォームみえの展開と教育プログラム「経営革新リカレント講座」の実施報告をお話いただきました。

また、岩崎恭典 評価委員会委員長より、前年度作成した「教育プログラムの評価方法」による教育プログラムの

評価及び改善提案の実施、「学びなおしの環境整備に向けたチェックリスト」についてお話をいただきました。



事業実施委員会委員長
小林 一成 氏



三重大学
青木 雅生 氏



評価委員会委員長
岩崎 恭典 氏



パネルディスカッション
の様子

パネルディスカッションでは、青木雅生 三重大学リカレント教育センター長がファシリテーターを務め、5名のパネリストをお迎えして「三重におけるリカレント教育の成果とこれからの展開」についてお話をいただきました。総評として、高野智志 文部科学省総合教育政策局生涯学習推進課長補佐より、フォーラムの総括をいただきました。



文部科学省 高野 智志 氏

フォーラム終了後、情報交換会が行われ活発な意見交換が行われました。



情報交換会の様子

リカレント教育プラットフォームみえでは、来年度も県内高等教育機関と社会との接続をより深化させ、三重県全体でリカレント教育を推進する取組を進めていきます。

HP：https://conso-mie.jp/2026/03/11/2025recurrent_forum0306_report/

発行元：高等教育コンソーシアムみえ事務局
連絡先：059-231-9969

下記の機関で三重創生ファンタジスタの養成をしています。

三重大学、四日市大学、皇學館大学、鈴鹿大学・鈴鹿大学短期大学部、鈴鹿医療科学大学、三重県立看護大学、四日市看護医療大学、津市立三重短期大学、高田短期大学、ユマニテク短期大学、鈴鹿工業高等専門学校、鳥羽商船高等専門学校、近畿大学工業高等専門学校、三重県

